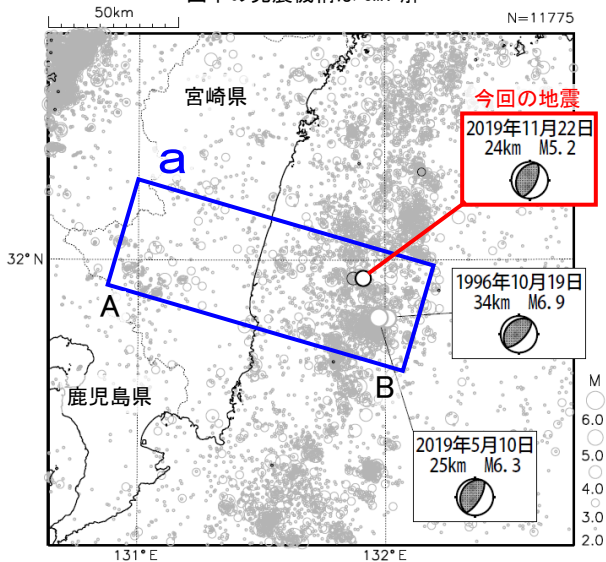
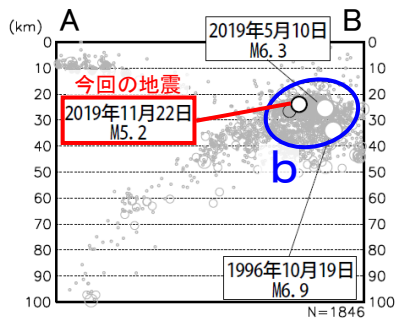


11月22日 日向灘の地震

震央分布図
 (1994年10月1日～2019年11月30日
 深さ0～100km、M \geq 2.0)
 2019年11月の地震を濃く表示
 図中の発震機構はCMT解

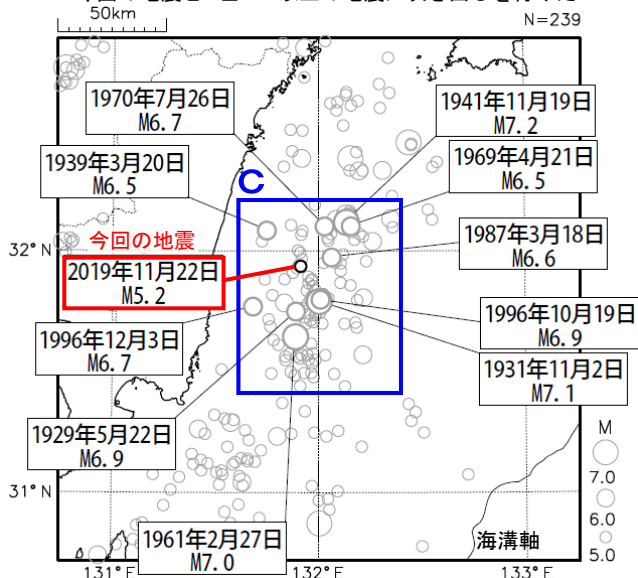


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年11月30日、
 深さ0～100km、M \geq 5.0)

今回の地震とM \geq 6.5以上の地震に吹き出しを付けた

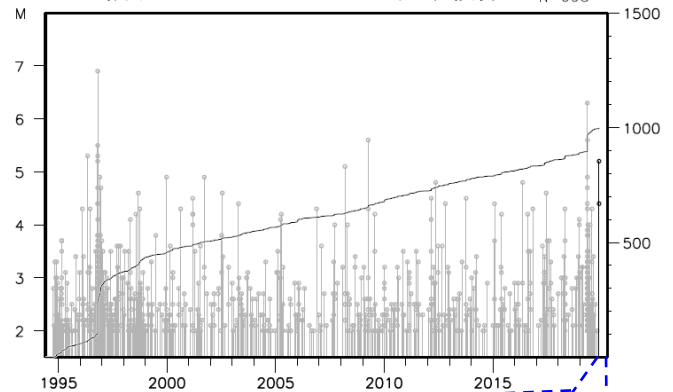


2019年11月22日18時05分に日向灘の深さ24kmでM5.2の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

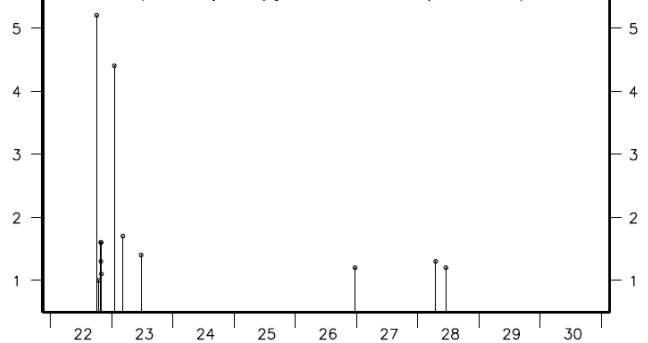
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM5.0以上の地震が時々発生しており、2019年5月10日にもM6.3の地震 (最大震度5弱) が発生している。また、1996年10月19日に発生したM6.9の地震 (最大震度5弱) では、高知県の室戸岬で最大27cm (最大全振幅) の津波を観測した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震が時々発生している。1941年11月19日に発生したM7.2の地震では、死者2人、負傷者18人などの被害が生じたほか、高知県の土佐清水で最大124cm (最大全振幅) の津波を観測した (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



(2019年11月22日～30日、M \geq 1.0)



領域c内のM-T図

